

事務事業名 清嵐荘施設運営事業		所属部 吉田総合センター	所属課 事業管理課	
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 産業振興グループ	課長名 河角郁夫	
	施策名 (35)観光の振興	担当者名 錦織研吾	電話番号 0854-74-0213 (内線) 4415	
	目的 対 象 市外の人 意 図 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大 事 業 大 事 業 名 4 5 0 5 0 1 1 項 目 中 事 業 中 事 業 名 0 5 0 5 0 1 1	清嵐荘運営事業	
	基本事業名 (105)受け地づくりの推進	清嵐荘運営事業		
目的 対 象 市外の人 意 図 受け入れる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
指定管理業務 施設修繕業務 施設改修調査業務 消費税申告 施設使用料収入調定業務

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ・指定管理業務 ①年度途中の指定管理更新(10月15日) ・施設現況調査の実施 ・施設修繕工事 ①給湯設備取替工事 ②給湯配管洗浄修繕工事 ③排水処理併設置工事 ④外灯修繕工事 ・使用料・賃借料支払い ①温泉使用料 ②土地賃借料 ・消費税申告納税(中間・確定)	25年度計画(25年度に計画する主な活動) ・指定管理業務 ・施設修繕工事 ①館内非常灯誘導灯修繕 ②昇降機改修工事 ・備品購入 ①洗浄度測定器 ②業務用スチームクリーナー ・使用料・賃借料支払い ①温泉使用料 ②土地賃借料 ・消費税申告納税				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	修繕箇所	箇所	2	4	4	2
イ	備品購入	数	1	0	0	2
ウ	指定管理者協議	回	3	4	6	10
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	国民 指定管理者	ア	国内人口	千人	128,057	127,799	127,512	126,217
		イ	指定管理者	組織	1	1	1	1
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
施設利用者の増加に努める。 適切な施設管理に努める。	ア	施設利用者(入浴券売数)	千人	40	39	34	50	
	イ	指定管理料(泉源料除く)	千円	14,145	13,728	19,640	26,691	
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
【需用費】1,379千円 【役務費】222千円 【委託料】22,633千円 (内、指定管理料19,640千円、 施設現況調査費2,993千円) 【使用料及び賃借料】1,272千円 【工事請負費】3,969千円 【消費税】695千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円	18,300	18,277	30,170	30,804
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	18,300	18,277	30,170	30,804	
人件費		正規職員従事人数	人	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	250	300	300	
		人件費計(B)	千円	972	1,183	1,175	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,272	19,460	31,345		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
①宿泊者数が減少傾向にある。 要因:景気低迷、施設老朽化 ②施設老朽化により修繕箇所多数発生している。	①指定管理者による経営努力 ②施設修繕 ③庁内関係部局協議(指定管理関係) ④条例の一部改正 ⑤指定管理期間の見直し ⑥指定管理料の見直し ⑦施設現況調査実施	①指定管理者からの施設改修要望 ②宿泊者からの施設改修要望 ③施設改修計画の策定

事務事業名	清嵐荘施設運営事業	所属部	吉田総合センター	所属課	事業管理課
-------	-----------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																						
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																							
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒																						
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																							
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設改修等や指定管理者によるより良質なサービスの提供、高速道路を活用した観光事業との連携により、年間を通じて利用者を確保し、その増大を図ることが出来れば増収が見込める。																					
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																							
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市内外、県外の施設利用者への影響がある。また市観光行政・観光振興に対するイメージ悪化に繋がりがかねない。 高速道路開通による市内観光入込客の宿泊等受け皿が必要。 良質な温泉、会食等に係る地域(地元)利用者への影響が甚大である。																				
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																							
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																					
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		連携(湯たんぶらりー等、共通入浴券)可能																				
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない			他の市有温泉施設との連携・イベント企画などで集客を図るなど成果の向上に向けた取組ができる。																				
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																					
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		施設老朽化による修繕費、施設改修経費など、今後さらに事業費が増加する可能性がある。																				
C 効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																					
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		特別会計の管理、指定管理者業務など正職員で対応すべき事務事業であるため。																				
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		一部の受益者を対象としていないため公平である。																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																					
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		指定管理者独自で施設修繕行い良好に管理運営されている。施設老朽化に伴う修繕が追いつかない状態である。景気低迷等の影響により宿泊者数の減少に歯止めがかからない状況にある。																				
3 今後の方向性【PLAN】																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>【施設運営】 指定管理期間、及び管理料の見直しをH24年度に実施し、経営の健全・安定化を促進する対策を講じており、指定管理者においては、一層の施設サービスの向上や、経費節減、同管理者による観光事業との連携、施設情報の発信、及び地域要望に沿った会食等の利用頻度を高める必要がある。</p> <p>【施設改修】 施設の老朽化が特に宿泊施設棟を中心に著しく、施設利用者が減少する要因となっている。また、耐震対応も急務となっていることから、H24年度に実施した「清嵐荘耐震調査等現況調査」の結果に基づき、施設改修、改築等の見直しを早期に計画することが必要である。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						